



# 床小の輪

校訓：強く 正しく 健やかに

厚岸町立床潭小学校 学校便り 最終号 平成29年3月24日

## I LOVE TOKOTAN! とことん とこたん!

「学校は閉校しても、床潭の人は続きます！いつまでも！どこまでも！」  
～次の言葉を、卒業生、そして全校の皆さんに贈りました～ 厚岸町立床潭小学校 校長 一本嶋 仁志

卒業にあたり、卒業生の皆さんに「生（せい）」の文字を贈ります。そして、この「（せい）」の文字に、三つの意味を込めます。

1、「生きる」です。どんなにつらいことがあっても、どんなに悲しいことがあっても「生きる」ことが大切です。「生きている」こと自体が価値のあることなのです。命を大切に、「生きる、生き続ける」皆さんであって下さい。

2、「生かす」です。皆さんの使命は、自分の夢、社会の幸せに向かって、自分を、そして、自分たちを「生かす」ことです。君たちの姿でどれだけの方が感動したことでしょうか。自分の力が、人のために役立っている！ということ、信じて下さい。胸を張って、自分の力を出して行って下さい。

3、「生かされている」です。人は一人では生きていけません。家族や友達などの周り人や、もの、ことなどすべてがあなたを生かしてくれています。例えば、カヌーや小島大黒島体験学習など、多くの人たちのお陰でできたのです。生かされたのです。皆さんの生（せい）・命（いのち）は、みなさんだけのものではありません。今「生かされている」自分であることを忘れず、謙虚に頑張りたいと思います。

校長先生は、この「生（せい）」の文字と三つの言葉を、卒業する皆さんへのはなむけとして、そして、閉校になる床潭小学校のすべての皆さんに贈ります。

厚岸中学校へ行くこと、厚岸小学校へ行くことなど、多くの不安があるかもしれません。しかし、不安があるということは、そこに求める希望があるということだとも思います。私たちは、どんなことがあっても「生きる」希望を見出していくことが大事です。そのための「学び（学力、心力、体力）」を一生、もち続けたいものです。そして自分を生かし、人の中に自分をおいて一緒に歩いていきたいものです。

学校は子どもたちがいてこそ、学校として成り立ちます。子どもたちがいない学校は郷風も冷たく感じると思います。それが、夏休みや冬休みではなく、4月からずっとこの校舎に吹く風ということが悲しい現実です。

しかし、床潭小学校には、私たちの思い出が宿っています。それは私たちも、子どもたちも、保護者の皆様も、多くの卒業生と地域の皆様も同じです。昔の校舎も、今の校舎も心の中では変わらずに建っています。心の中では暖かな郷風が吹く！そんな心持ちになれるように、みんなで思い出を暖めつつ、大きな一歩を踏み出しましょう。

子どもの特権は、未来が広く・大きいことです。この子どもたちから元気をもらい、この子どもたちのために、これからもがんばっていくことが一番だと思います。

結びになりますが、閉校にあたり、閉校事業実行委員会の皆様・地域の皆様に感謝申し上げ、これからの床潭に、皆様に幸多きことを祈念いたします。子どもたちのことをどうぞよろしく願いいたします

### 保護者・地域の皆様お世話になりました

◇一本嶋 仁志 校長(平成27年～) 浜中町立霧多布小学校へ  
この2年間、保護者や地域、関係機関の皆様のご支援をいただき、子供たちの教育にあたらせて頂きました。子供たちも、皆様のお陰でいろいろな活動ができたこと感謝していますし、恩返しのために一生懸命頑張りました。今後とも、子供たちへの応援よろしく願いします。皆様からいただいた激励や励ましを糧として、私も頑張りたいと思います。大変お世話になりました。

◇福原 克洋 教頭(平成28年～) 鶴居村立鶴居中学校へ  
わずか1年の勤務でしたが、閉校事業という大きな行事を控え緊張感をもって1年間を過ごしました。児童、保護者、地域の皆様のおかげで、無事に閉校式、思い出を語る会を終了することができました。思い出に残る、自分にとってかけがえのない、そして、忘れることのできない1年となりました。本当にありがとうございました。

### 環境に優しい学校作りに貢献(学校版EMS)



床潭小学校が今年度行った環境に優しい学校づくりが認められ、3月8日に認定書をいただきました。毎週目標を決めて環境を考えた生活を行い、さらに今年度は、ゴミ拾いを通して考えた結果、チラシ作りを行い地域に配布しました。最後の学校便りとともに、チラシを同封していますのでどうぞご覧ください。最後の1年もしっかりとがんばりました。

◇鳴野 雅之 教諭(平成25年～) 釧路市立武佐小学校へ  
純真で元気いっぱいな子どもたちとの生活、温かく楽しい地域の皆様との語りい…この床潭での4年間は、私にとって最高の宝物となりました。4月からは釧路市の武佐小学校で勤務することになりました。少し離れたところからではありますが、子どもたちの健やかな成長と、地域の発展を心よりお祈りしております。4年間、本当にお世話になりました。

◇野呂 照美 教諭(平成27年～) 厚岸町立厚岸小学校へ  
とても元気で素直な床潭っ子と何事にも協力的な保護者の皆さん、そして快く子どもたちの学習活動に力を貸して下さった地域の皆さんにたくさん支えていただいた2年間でした。特にこの1年は閉校というさみしさもありましたが、とても充実した濃い時間でした。ありがとうございました。4月からは厚岸小学校でも子どもたちの床潭っ子魂が輝くようお手伝いしていきます。引き続きお世話になりますがよろしく願い致します。

◇吉田 三津男 公務補(平成25年～)  
床潭地区の住民の皆様並びに父兄の皆様には大変お世話になり、又共に学び指導されて来られた校長先生をはじめ、教職員の皆様にも大変お世話になりましたこと心よりお礼申し上げます。着任当初は未知の職場であり、皆様の御指導とご協力をいただき今日までやってこられたと思います。今までの教訓を忘れずにこれからも職務に専念して行きたいと思ひます。本当に有難うございました。

◇中屋 さゆり 事務職員(平成28年～)  
地域・保護者の皆様、一本嶋校長先生をはじめ皆様にささえられながら、あっという間の一年間！！ 色々な体験や経験にレクレーションも、みんな床潭小学校での良い思い出になりました。一年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。